子どもの病気とその対応

”あれ! いつもと違う”の 気づきが大切!
観察ポイントと対処方法を学ぼう

体温が 37.3℃あります。
元気そうなんですが・・・
熱でしょうか??

1 歳の子どもが夜中に咳をはじめました。
息を吸うときにゼイゼイ聞こえます。
救急受診した方が良いですか?

電卓のボタン電池を
飲み込んだみたいです。
便に出るまで、待って
も良いですか?

1 歳の子どもが喉に
お菓子を詰まらせて、
ぐったりしています。
すぐに受診したら良
いですか?

美作地域の大切な子ども達がすこやかに育つために、子どもの病気と
その対応についてまとめました。
子育て中の方、子育ての応援者の方の手元に置いて、ご活用ください。

発熱

子どもの平熱は37.0℃前後です。
37.5℃以上で微熱、38.0℃以上で発熱と考えると良いですよ。

観察
・機嫌は？元気は？
・呼吸は普通？
・食欲は？
・皮膚の色は？
・意識ははっきりしてますか？
・おしっこは出てますか？

手当
・水分補給を十分に
・発汗や皮膚紅潮があるときは冷やす
・熱の上がりかけで寒がっているときは、暖める
・子どもが嫌がることを無理強いしない
・解熱剤は、元気がないようなら使ってください
　→日頃から、
　　かかりつけ医に使い方を確かめておきましょう

→元気がよければ
　様子を見ても大丈夫

こんな時は、受診を
○生後６ヶ月以内
○起こしても、うとうとして、
　意識がはっきりしない
○半日以上もおしっこが出ていない

腹痛

観察
・便秘は？下痢は？
・痛みの場所は？
・痛みはいつもありますか？
・痛みが時々治まりますか？
・顔色は？元気は？

→下腹部痛の時は、
　睾丸（こうがん）の観察を

手当
・便秘の時には、
　・トイレに行ってみる
　・排便がなければ浣腸を
・下痢の時には
　・おなかを休めて消化のよいものを
　・水分はしっかりとる
　（塩分糖分のあるイオン水）

こんな時は、受診を
○右下腹部に、ずっと続く痛みがあり、だんだん強くなっている
　→急性虫垂炎（盲腸）かもしれません
○下腹部痛があり、睾丸が紫っぽく腫れている
　→精巣捻転症かもしれません →急いで受診を
○便に血液が混じっている

心配ですね
いつもと違うところは
どこですか？

パンフレットで確認してみて、
心配なら受診しましょう

せき、喘鳴（ぜんめい）

せきは、気道の痰や、ひっかかったものを出す防御作用のこともありますが、
喘鳴（ぜんめい）の時は、受診が必要です。せきや呼吸の様子をよく観察しましょう。

観察
・呼吸は？
　「ぜいぜい」「ひゅうひゅう」
　ではないですか？

・横になれていますか？
・呼吸数、息づかい、
　爪の色、顔色はどうですか？

手当
・体を起こして楽な姿勢に
・十分に水分の補給を
・室温の急激な変化を避け、
　乾燥に気をつける

こんな時は、急いで受診を
○急に起きて息苦しそうな変な咳をする
○息を吸うとき、首の付け根がへこむ
○横になれずに体を起こしている
○息切れしてよく飲めない
○時々呼吸が止まり、爪の色や顔色が紫色

けいれん

子どもに起こるけいれんの特徴
「熱性けいれん」・・・・38℃以上の発熱。左右同じ全身けいれん
「泣き入りひきつけ」・・痛みや怒りなどで激しく泣いたときに脳が興奮して起きる
　　　　　　　　　　　呼吸が突然一時的に止まり、顔やくちびるが紫色になることがある
「てんかんによるけいれん発作」・・・・・発熱のない時のけいれんが繰り返しある

観察
・けいれんですか？
　悪寒戦慄（ふるえ）ではないですか？
・意識は？
・呼びかけに、反応しますか？
・時計をみて！
　・・・けいれん発作の継続時間を
　　　計りましょう

手当
・２～３分で治まるので、あわてずに！
・体を揺さぶらない、ほほを叩かない
・静かに横向きに寝かせる
・呼吸しやすいように衣服をゆるめる
・口にものを入れない

＜おさまったら
　記録しておきましょう＞
＊熱は何℃でしたか？
＊何をしているときに起きましたか？
＊けいれんは何分間で止まりましたか？
＊手足は左右同じ動きでしたか？
＊けいれんの様子は？
　　「ぴ～ん？」「がくがく？」

→おさまって、意識がしっかりしてきて、
　元気が出てくれば様子を見てもいいです

こんな時は、急いで受診を
○10分以上続く
○意識が戻らない。元気がなく、ぐったりしている
○短時間に繰り返す
○全身でなく、部分的なけいれん

嘔吐・下痢

機嫌が良く、食欲もあり元気なら心配ありません

観察
・便の様子はどうですか？
　・・・・回数、におい、性状（血便、水様便、粘血便、白色便）など
・おしっこの回数は少なくないですか？
・発熱、顔色、元気さ、皮膚や口の渇きぐあい、発疹などはどうですか？

手当
・吐いたものが気管に入らないように、体は横向きに
・水分を少量ずつ様子を見ながら与える（牛乳は避ける、母乳はよい）
・水分補給を十分に
・吐いたもの、便の片づけには注意して、しっかり手洗いを

こんな時は、受診を
○泣いても涙が出ない
○目が落ちくぼんでいる
○皮膚、口、舌が乾燥している
○皮膚が冷たく、白っぽい
○呼吸が速く、眠りがち。機嫌が悪い
○１日に６回以上、大量の水様下痢
○便に血液が混じっている（血便）
○嘔吐が長引いている
○緑色の嘔吐がある

異物誤飲

異物の誤飲は、２歳以下が大半です
17時から20時の子どもから目の離れやすい時間帯が要注意

○タバコ→食べた量の観察！
　・半分以下、２センチ以下なら・・・・・放置可
　・それ以上、不明な場合は・・・・・・・病院へ
◎心配な誤飲・・・・・・・・・・・・・・吐かせたらいけない!!
　・灯油、ベンジン、シンナーなどの揮発性の物
　・漂白剤・強い酸・アルカリ
○処置の不要な物
　・体温計の水銀、石けん、シリカゲル、マッチ、シャボン液
　・クレヨン、インク、墨、化粧水、絵の具、線香

こんな時は、急いで受診を
○タバコの灰皿の汁を飲んだ
○大人の薬を飲んだ
○ボタン電池やコインを飲んだ
○咳き込みが止まらない
◎「心配な誤飲」（上記）の場合

気道異物

子どもは、何でも口に持っていきます。
のどに異物が詰まったら、急いで手当を！
（救急車では、間に合わないことも！）

詰まった異物を吐き出させるときは・・・
○乳児では、うつぶせにし、あごをあげ、気道を開きやすくして、
　頭を下げ背中をたたく
○幼児では、抱きかかえ、頭を低くして背中をたたく

監修：津山小児科医会、津山中央病院　梶 俊策

子どもの病気について観察ポイントと
対処の方法は確認できましたか？

急な発熱など、子どもの病気は心配ですね。
小児救急医療電話相談や、医療情報を上手に活用しましょう。

小児救急医療電話相談（#8000　シャープはっせん番）

●お子さんの夜間の急な発熱、けいれんなど具合が悪くなった場合に、当番小児科医師や看護師等が電話で相談に応じます。

●平日　　　　　　　　　：午後７時～午後１１時
　土・日、祝日、年末年始：午後６時～午後１１時

●電話番号：＃８０００　又は　０８６－２７２－９９３９
（＃８０００については、携帯電話及びプッシュ回線の固定電話から通話可能です）

地域の医療情報コーナー

●休日夜間の当番医を探すとき

「岡山県災害・救急医療情報システム」にアクセスすると、津山地域の当番医が確認できます。

●子ども関係、予防接種などの色々な条件から医療機関を探すとき

「岡山県医療機能情報システム」にアクセスすると、県内全域で条件別の医療情報が探せます。

いずれの場合も　http://www.iryo-joho.pref.okayama.jp

●夜間休日小児救急診療24時間体制

津山中央病院では、津山中央病院小児科医、地域の開業医の協力による夜間休日の小児科救急診療24時間体制を取っています。

「こどもの救急」～おかあさんのための救急＆予防サイト～ホームページ

●社団法人　日本小児科学会により監修された「こどもの救急」ホームページです。夜間や休日などの診療時間外に受診するか否かの判断の目安を提供してあります。

●生後１ヶ月～６歳までのお子さんを対象に、発熱、けいれん、腹痛などの気になる症状から受診の目安が確認できるようになっています。

●http://kodomo-qq.jp/index.html

「子どもに安全をプレゼント」～子ども事故防止支援サイト～ホームページ

●子どもの事故を防ぐための情報を年令別にチェックできるようになっています。

●http://www.niph.go.jp/soshiki/shogai/jikoboshi/index.html

監修　津山小児科医会
　　　津山中央病院
発行　岡山県美作県民局健康福祉部
　　　岡山県美作保健所管内愛育委員連合会
　　　住所：津山市椿高下114　TEL0868－23－0148
このパンフレットの情報は http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=61385
（美作県民局健康福祉部ホームページ）からダウンロードできます。

発行：21年 1月
再版：21年10月
3版：22年 7月